

かけ橋



九重町立淮園小学校
令和6年 11月 7日
文責 校長 河村雅文

淮園小学校 HP のQR コードです。
よかったら HP もご覧ください。

南山田げんき祭り・亀鶴苑での演奏

11月3日(日)は、南山田公民館において南山田げんき祭りが行われました。淮園・南山田両地区の方が多数参加して、大変盛況なお祭りでした。体育館での開会行事のあと、各団体の出し物発表が行われましたが、淮園小学校も3~6年生がエントリーして、プログラム1番で淮園太鼓を披露しました。たくさんの聴衆の方がいましたが、子どもたちは日頃の練習通りに、平常心で演目を終えることができ、たくさんの拍手をもらうことが出来ました。演奏後はゆっくりお祭りを楽しみたいところでしたが、引き続き亀鶴苑で演奏をするため、すぐに運搬用トラックに太鼓一式を納めて、次の演奏場所の亀鶴苑に移動です。亀鶴苑では、野外での演奏になりましたが、外でも子どもたちの叩く太鼓の音やかけ声は、聴衆の心を引きつけるダイナミックな演奏でした。

今回の演奏は、4回ある淮園太鼓の発表のうちの1発目の発表でしたが、上々の出来でした。当日の演奏にあたり、指導に関わって下さった高瀬さん、運搬に協力して下さった保護者の皆さんには、心よりお礼申し上げます。大変お世話になりました。



2回目の淮園太鼓演奏は、11月8日(金) 玖珠郡教育文化祭音楽祭 9:30~ プログラム1番 メルサンホールにて、
3回目の演奏は、11月16日(土) 淮園ふれあいまつり 9:40~ 淮園小学校体育館にて演奏します。

読書のすすめ ~毎月15日は「家読の日」です~

一日の食事は朝、昼、晩の3回ですが、食事と同じくらい栄養を与えてくれるもの。それが「読書」です。読書は、子どもの心の栄養です。国立青少年教育振興機構が、2021年8月に発表した「子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究」には「読書好き」を育てるヒントがいくつか出ていましたので紹介します。

●本を持ち歩いて読むこと ●地域の図書館で本を借りること ●ジャンルを問わず読むこと ●同じ本を繰り返し読むこと
●図書委員や子ども司書等の活動をする ●絵本を読むこと など、興味・関心に合わせた読書経験が多い人ほど、読書量が多い傾向にあるそうです。

また、本(紙媒体)で読書している人の意識・非認知能力は、していない人よりも高い傾向があることも報告されています。

※意識・非認知能力とは・・・①自己理解力(「今の自分が好きだ」、「自分には自分らしさがある」など自己肯定感) ②批判的思考力(「物事を順序立てて考えることが得意だ」など客観的、多面的、論理的に考える力、自分あるいは他者の意見をまとめる力、コミュニケーション力) ③主体的行動力(「わからないことはそのままにしないで調べる」など何事にも進んで取り組む姿勢や意欲)

今年の秋は短いといわれますが、読書をするにはもってこいの時期です。テレビやゲームも魅力がありますが、ご家族で本に触れて、本の世界にまったりと浸ってみませんか。【わたし(校長)のおすすめする本2冊】



私が高学年のとき、国語の教科書に載っていたお話です。戦争の悲惨さや子を思う親の思いを子ども心ながら感じさせられたお話です。大人になってからこの本を購入して、今でもたまに読み返すことがあります。

今年26才になった我が子に小さい頃、私が読み聞かせていた絵本です。読んでいて、大人でも笑いが止まらなくなるくらいおもしろくて、でも、読み終わると、なんだか心が温くなる楽しい絵本です。



